

2021-22年度 ロータリー財団地区補助金プロジェクト一覧(補助金番号:DG2228241)

2021/8/26

	分区	ガバナー補佐	クラブ	実施地	活動の簡単な説明	総額 (円)	補助金支援予定額 (円)	
1	コロナ 弱者救済	中央分区	牛島 聡	東京麹町	日本	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ますます貧困に陥っているひとり親世帯に米を配布する。毎月10万円分で360kgの米を購入し、認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむの会員になっている貧困世帯に分配する。	1,200,000	600,000
2	コロナ 弱者救済	中央分区	牛島 聡	東京紀尾井町	日本	貧困の母子家庭の子ども160名に、リュックサック・学用品・非常食を配布する。	900,000	600,000
3		中央分区	中島 弘人	東京新宿	ネパール	ネパールのラリットプール郡ブンガマティ村にあるクラーク記念ヒマラヤ小学校にパソコン9台、プロジェクター1台、図書1500冊、制服と靴93名分を寄贈する。	1,000,000	600,000
4	コロナ 弱者救済	中央分区	渡邊 創	東京練馬西	日本	練馬区の公園で森林浴の体験会を開催する。参加者はケアラー(ケアラーとは介護や看病、療育が必要な家族や近親者を無償でサポートする人)や学習支援を必要とする子どもたち。3回開催。各回20名参加予定。森林浴に使用するベンチを購入し公園に設置する。	600,000	480,000
5		中央分区	渡邊 創	東京練馬中央	日本	ディスレクシア(学習障害の一種。知的能力および一般的な理解能力などに特に異常がないにもかかわらず、文字の読み書き学習に著しい困難を抱える障害)の子どもたちがいじめや差別に合わないよう、理解を促進するための講演会を開催したり、小冊子を配布する。練馬区に5校ある言語障害通級指導教室や学校で講演会を行う。ディスレクシアの方の人数は把握できないが、日本では人口の約5%で、学校ではクラスに2〜3名いると推定されている。	750,000	600,000
6		東分区	岡本 隆一	東京江東	日本	東京都江東区のたんぼぼクラブ(NPO法人障がい児者ライフサポートたんぼぼの会が運営する放課後デイサービス施設)に利用者送迎用の車(10名乗りのハイエース・中古車)を寄贈する。現在送迎に利用している車が老朽化しているため。施設利用者は25名。	1,200,000	600,000
7		東分区	瀧澤 一郎	東京江北	日本	足立区内の子育てサロンや児童館などの公共施設や商業施設で、子どもと保護者を対象とした絵本の読み聞かせのイベントを6回開催する。読み手の育成講座も2回行う。受益者は600名を想定。	1,200,000	200,000
8		東分区	瀧澤 一郎	東京葛飾東	日本	葛飾区社会福祉協議会へ高齢者疑似体験セットを寄贈し。区内小中学校・高校での福祉・ボランティア講座や地域施設での研修に使用する。年間使用者は推定500名。	500,000	400,000
9	コロナ 弱者救済	東分区	瀧澤 一郎	東京足立	日本	東京都足立区内の生活支援を必要とする貧困世帯におせち料理を届ける。日本の食文化を次世代につなぐ食育を推進する。受益者は200世帯(約500名)を想定。足立区子ども宅食「あだち・わくわく便」と協力する。	750,000	600,000
10		東分区	荒井 知久	東京江戸川	日本	東京都江戸川区児童相談所はあとポードに入所する児童に文具を贈る。児童は200名。	651,820	520,000
11	コロナ 弱者救済	東分区	荒井 知久	東京東江戸川	日本	東京都江戸川区母子生活支援施設そよかせ松島荘(父親からのDVなどでひとり親になった母子を一時的に保護し、一定期間生活の安定をはかりケアする施設)に、翻訳機のポケット5台と絵本20冊を寄贈する。外国籍母子家庭は4世帯で、日本語でのコミュニケーションが難しい場面があるためポケットを活用いただく。コロナ禍でパート職を失った方や、引きこもり気味になっている家庭があると聞いているので絵本の読み聞かせ会を3回行う。	180,000	144,000
12		東分区	荒井 知久	東京江戸川中央	日本	江戸川区つむぎの家(2021年4月に東京都江戸川区区内に初めて開設される児童養護施設)にピアノを寄贈し、子どもたちの心身の健やかな育みを支援する。児童24名。親子のメンタルヘルスをケアする音楽療法やクリスマス会、お別れ会などの各行事にピアノ演奏を予定している	572,000	440,000
13		武蔵野分区	荒井 伸吉	東京武蔵野中央	日本	児童養護施設の子どもたちに、成田ゆめ牧場で遊び、動物と触れ合う機会を提供する。子ども20名と施設の指導教師5名が参加予定。移動のための大型バス代、入場料などに支出する	360,000	288,000
14	コロナ 弱者救済	多摩分区	町田 清二	東京東村山	日本	東京都東村山市内の認可保育園(20園)を利用する非課税世帯のひとり親家庭100世帯に、生活必需品を支援する。	1,000,000	600,000
15	コロナ 弱者救済	多摩分区	町田 清二	東京福生	日本	グランド(ネット多摩S&Dフィールド)を借り、思いきり体を動かして遊べる場所を地域の子どもたちに手提供する。新型コロナウイルスによる外出自粛や公園で起きている各種問題により遊び場をなくした子どもたちを支援する。毎週月、水、金の15-17時を借り上げ、GONAというスポーツクラブによるアルティメットなどの遊びを教える機会も設ける。障がいを持つ子どもが安全に遊ぶことができる日も設ける予定。	780,000	600,000
16	コロナ 弱者救済	沖縄分区	松島 寛行	那覇	日本	沖縄の子どもと家族 支援者の未来を明るくする会(OCFC)にバーチャル研修開催に必要な機材(パソコン2台、プロジェクター、スピーカーフォンなど)を寄贈する。OCFCは児童福祉に関わる支援者(児童相談所職員や市町村児童家庭課職員、保健師など)に対して、障がい児支援や児童虐待に関する研修を行う。当活動の受益者は推定90名。	500,000	400,000
17		沖縄分区	松島 寛行	石垣	日本	沖縄県の与那国島の中学校2か所に、伝統太鼓を各5セット寄贈する。生徒は計50名。与那国島は日本最西端に位置する。島民は1700名。学校は中学までしかなく、高校へ進学するためには15歳で島を離れないとしない。郷土愛を育む機会は15歳までの限られた時間となるため、中学に伝統芸能に欠かせない太鼓を寄贈する。	600,000	480,000
18	コロナ 弱者救済	沖縄分区	松島 寛行	那覇東	日本	コロナ禍は女性の就労状況の悪化を招いているため、那覇市母子生活支援センターさくらが把握している貧困の母子家庭に食料を支援する。500世帯を想定。	1,000,000	600,000
19	コロナ 弱者救済	沖縄分区	新城 恵子	浦添	日本	NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい(不登校・ひきこもり・障がい等が理由で社会孤立している青少年への支援を目的とする団体)にパソコン8台を寄贈する。	524,797	480,000
20	コロナ 弱者救済	沖縄分区	新城 恵子	那覇北	日本	那覇市医師会看護専門学校にタブレット10台を寄贈する。新型コロナウイルスによりリモート授業が行われているが、機材を用意することができない困窮世帯の学生に貸し出す。タブレットを使うことになった学生とロータリアンがバーチャルでディスカッションする機会を設けることも計画している。	690,800	560,000
					計	14,959,417	9,792,000	